

はらんべえ・れお

KESTES 通信 第二号

Habari zenu!? 青年海外協力隊有志で運営する「ケニアの子どもの未来を応援する奨学金制度」KESTESです。機関誌「はらんべえ・れお」の第三号をお送りします。皆様は今年の「こどもの日」をどう迎えられているでしょうか。

今号では、はじめに私たちが支援している奨学生の紹介をしたいと思います。



再開後第一号の奨学生 Brian Ochieng Otieno 君。17 歳の彼は現在、Gikoni Secondary School の 2 年生で大学進学を目指しています。KESTES 元委員長の見原さんの配属先、Othaya Rehabilitation School を卒業した彼は KESTES 再結成のきっかけになった生徒です。



Gikumene Girls High School に進学した Mutemi Ann Belinda さん。幼い頃に大病を患った彼女の夢は外科医になることです。KESTES 委員の中川さんの配属先 Meru National Park から近い Kathithine Primary School を卒業しました。活動の一環で出会った生徒を支援する KESTES の新たな試みとなりました。



Samba Wanda Kennedy 君は Koyonzo Mixed Secondary School の 3 年生です。現金収入がほとんどない家庭の彼はこの 5 月、任地で出会った小野さんから推薦されました。彼は成績がとても優秀で学習意欲が強く、2 学期から KESTES は支援することに決めました。

そして役員交代の報告です。新委員長は下元愛さん (H20-4、エイズ対策) です。

新しい委員も続々と KESTES に加わり、一層力強くなっています。

山崎和幸 (H20-3 コンピュータ技術)、篠田敏規 (H21-2 エイズ対策)、

山本雅也 (H21-3 小学校教諭)、小野博子 (H21-3 村落開発普及員)、
以下 H21-4 から 柏木優 (青少年活動)、福尾朋洋 (青少年活動)、
菅井河奈子 (PC インストラクター)、松本義和 (PC インストラクター)、
西川貴博 (PC インストラクター)、小谷裕子 (日本語教師)、
久野英士 (村落開発普及員)、田崎ふみ子 (エイズ対策) 敬称略

以上 12 名の中から、篠田さんの意気込みを紹介します。

「活動は現在、病院が中心で、学生と触れ合うことは少ないのですが、活動内容に共感し、加入を決意致しました。ケニアの意欲ある学生達に、少しでも貢献できたらと思います。」

今号発行時点で委員は全 25 名となりました。下元さんからの挨拶を紹介します。

「KESTES がケニアの学生および協力隊員にとって、これからも実り多き存在であるよう KESTES の運営を支えていきます。」

募金活動も大いに成果を上げています。1 月 24 日以降、帰国隊員を中心に USD300 を頂きました。また日本人学校関係者の皆様より Ksh6000、ドミトリーに設置した募金箱にも Ksh1000 ほど寄付がありました。

今後は 5 月 23 日(日)ソトコトマラソンでの募金活動を予定しています。5 月 29 日(土)午前には Village Market 内の SUPERBOWL にてチャリティー企画第二弾「ボーリング大会」を行います。詳細はお近くの委員までお問い合わせください。

もうすぐ離任となる委員 7 名を代表して見原さん (H20-1 青少年活動) からの挨拶で、今号を締めくくりたいと思います。

「ケニアの子どものために」、「ケニアの未来のために」、もちろんそれが理想だけど、たとえその理想からは程遠くても、精一杯やれたなら何か変わるものがあると思う。理不尽、不条理を嘆くよりも、夢を語ろう。答えはきっとその中にある。明日も頑張れ。」

KESTES への質問や「はらんべえ・れお」への感想をお待ちしています。

kesteschairperson@gmail.com